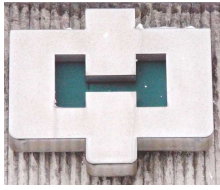


教育目標 「豊かな心で たくましく 自分の人生を切り拓く 生徒」

重点目標 「豊かな心 確かな学力 健やかな身体」



あ さ ひ こ
朝 日 子

佐渡市立畑野中学校 学校だより

平成28年 10月20日(木) No.13

著・編 校長 加藤雄一郎 (TEL 66-2058)

総合学習目白押し 校外で積極的に活動

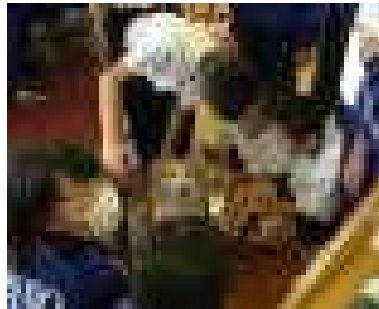
1年生 は5日、午前中に福祉施設を訪問して体験活動を行いました。5班に分かれ、待鶴荘・ときわ荘・やわらぎの里・デイサービスなんだい・いこいの間をそれぞれ訪問し、高齢者との体験活動を行い、交流をしました。相手の目線に合わせて話したり、レクリエーションをして場を盛り上げたり、福祉のお手伝いを積極的にしました。午後は学校に戻り、佐渡で唯一の聴導犬とふれあい、聴導犬ユーザーから聴覚障害についての話を聞き理解を深めました。生徒の振り返りをいくつか紹介します。

◇体験を通して、身に付いたこと

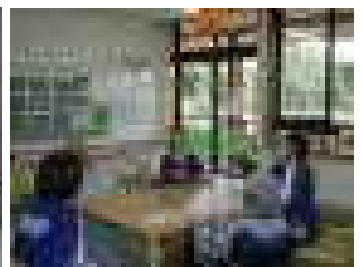
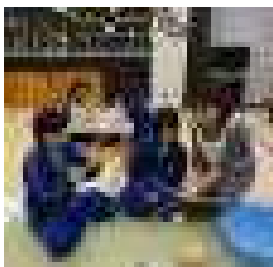
- ・周りをよく見て、気づいてあげること。よく見てあげること。その人がどんなふうになんかことをしてあげればよいかを考える。
- ・お年寄りを改めて大切にしていこうと思った。障害をもっているもっていないなど関係なく困っている時は、やれることならがんばって協力してあげたいと思いました。
- ・相手の気持ちを考えて行動することができるようになったので、お年寄りだけでなく友達とも仲良くできるようにしていきたいです。

◇人に優しい社会の実現のために、必要なこと・大切なこと・友達や家族に伝えたいこと

- ・他人のことを決めつけずに、他人の素晴らしさを尊重し、その思いを広めること。
- ・障害のある人でも差別しないこと。障害があるからといって弱い人だと思わないこと。
- ・身体の不自由な人は可哀そうと思うのではなく、苦手なことがあるだけだと思います。誰でも苦手なことはあります。障害がある人は障害のない人よりはるかに強い人だと思いました。
- ・人は一人一人違うから、その人一人一人の気持ちを理解してあげることが大切だと思った。



2年生 は4～6日の3日間、8グループに分かれそれぞれ職場体験に出かけました。訪問先での体験や仕事内容、そこで働く人の思いを聞いたことを基に、「ミッション」について解決策を考えていきました。事前に訪問企業との打合せをもったお陰で、体験当日はとてもスムーズに進みました。訪問先の皆様も温かく生徒を受け入れてくださり、充実した3日間だったようです。普段できない体験をたくさんさせていただき、学校に戻って来て報告する姿は誇らし気に見えました。

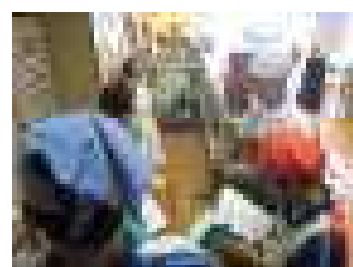
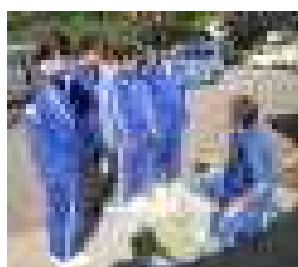


ミッション達成 2年 中川

「佐渡の素材を使った新商品を開発しよう」というミッションを達成できたし、貴重な経験ができてよかったです。渦上温泉班とコラボできたのもよかった。これからも部活などでもあいさつや返事を自分から進んで言えるようには心掛けたいです。(しまや班)

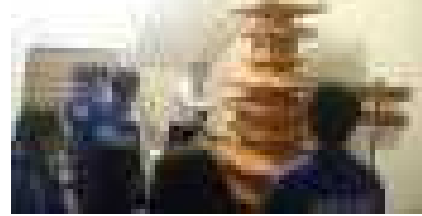
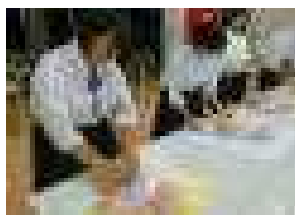
ふれあいながら学ぶ 2年 金子

ピアノ伴奏があまり上手にできなかったけど、みんな楽しそうに体操をしてくれてうれしかったです。たくさんの方に昔のことなどを教えてもらいました。コミュニケーションがたくさんとれて、働いている人々の動きも学びました。3日間たくさん学べてよかったです。(ケアセンターうしろやま班)



3年生

は5日、午前中は伝統文化と環境福祉の専門学校を訪れ授業見学、午後はそのまま伝統文化と福祉環境の専門学校に残るグループと佐渡看護専門学校と佐渡保育専門学校を訪問するグループに分かれ、専門学校の学生と実習をしたり、体験活動をしたりしてきました。



各学年のこれらの活動については、22日の文化祭で全学年全グループが発表いたします。生徒たちが学び、感じたこと、また体験したこと、ミッションの提案等を自分たちの言葉で伝えます。他の学年、他のグループの発表を聞いたり、他と比較しながら自分たちの発表を振り返ることを通して、提案する力、まとめる力、発表する力等を鍛えていきます。保護者の皆様からも質問等に加わっていただけると幸いです。

キャリア教育フォーラム 夢と目標をもって

市内中学3年生

が参加した「佐渡地区 生徒のためのキャリア教育フォーラム」が3日、アミューズメント佐渡大ホールで開かれました。県教育委員会が主催し、佐渡市教育委員会共催で実施されました。島内4校の高等学校、中等教育学校の代表生徒が学校説明、進路学習の体験や実践等、学校生活や進路のことについて発表しました。高校選択だけでなく、将来のこと、就職のことも考える機会になりました。高校生からの発表も分かりやすく、高校生活のイメージを膨らませていました。

また、「夢～佐渡に対する想い～」と題して、中学生の代表3名と高校生代表2名、佐渡副市長が入ったパネルディスカッションも行われ、生徒にはとてもよい刺激になりました。佐渡の子どもたちが自分の将来と併せて、佐渡の将来についても堂々と意見を交わす姿は、とても頼もしく、応援したくなりました。自分の夢や目標をもつことで、普段の生活が変わってきます。やるべきことを具体的にして実行あるのみです。

進路を考える機会に 3年 松田

各高等学校の生徒たちが、高校の説明をしてくれました。それを聞いて、どの高校がどのように生徒の将来や進路、就職先を定めさせているのか、決まったあとのサポートをどのように行っているのかを知りました。

私は将来がまだはっきり決まっていなかったため、今回のキャリア教育フォーラムで聞いた話は、進路について考えるためのとてもよい材料になったと感じています。

よかったパネルディスカッション

3年 石川

キャリア教育フォーラムに参加して、一番よかったと思うのはパネルディスカッションです。副市長もパネリストとして参加し、佐渡についての一人一人の意見を交わし合っていることがすごいことだと思いました。パネリスト全員が佐渡の自慢できるところ、佐渡の課題などを真剣に話し合っていて、とてもいいなと思いました。